

単元名 しきと 計算

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 加法の結合法則，及び()や $>$ ， $<$ ， $=$ の意味と使い方を理解し，()を含む式を正しく計算したり， $>$ ， $<$ ， $=$ を使って式に表したりすることができる。
 (2) まとめてたす式を，()を使った式で表すことができる。
 (3) まとめてたす式を，()を使った式に表そうとする。

標準的な展開例

02040203_001

【準備等】数図ブロック

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 3つの数のたし算について考える。[p. 118・p. 119]</p> <p>○順にたす計算とまとめてたす計算があることを確認する</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★まとめて考えるしかたを1つのしきにかこう。</p> <p>○「みんなで考える問題」に取り組み，まとめてたす式を1つにする方法を考える。</p> <p>○()の使い方を知る。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>2 $>$，$<$，$=$を使って式に表す。[p. 120]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。</p> <p>★$>$，$<$，$=$をつかってしきにかくことを考えよう。</p> <p>○150と$90+70$，$90+60$，$90+50$の大小を比べる。</p> <p>○$>$，$<$，$=$の使い方を確認する。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・順にたしても，まとめてたしても答えは同じであることを捉えさせる。 ・順にたす場合とまとめてたす場合の式の違いに気付かせる。 ・1年生で学習した3つの数の加法の計算の順序について想起させる。 ・加法の結合法則についてまとめ，()の意味を確かめる。 ・()の中の計算を先にすることを確認する ・2通りの仕方で計算させる。 <p>【評】()を含む式の計算に取り組む活動を通して，「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「$=$」は今まで計算の結果を表す記号として使ってきた。 ・ここでは，等号本来の意味（左辺＝右辺）を扱う。 ・3人の考え方を立式し，計算させる。 ・既習の「$>$，$<$」については，数だけでなく式の大小も表すことができることを伝える。 <p>【評】$>$，$<$，$=$を使って式に表す活動を通して，「知識・技能」を評価する。</p>

【備 考】

本単元は，前単元で学習した「増増」の数量に着目し，「じゅんにたす」と「まとめてたす」の思考法に引き続いているため，2つの考え方を思い出させてから式に表すようにする。順にたす方法は，1つの式に表せることに触れ，まとめてたす方法を1つの式に表すためには，()を使うことを知らせる。また，計算の苦手な児童にも個別指導を通して間違いなく計算できるようにする。